

平成 21 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 COO 吉田 雅司
コード番号 3 0 8 8 東 証 一 部
問合せ先 広報室長 高橋 伸治
(TEL:047-344-5110)

株式会社中島ファミリー薬局の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会決議により、株式会社中島ファミリー薬局（本社：長野県須坂市、代表取締役社長 中島 克彦）の株式取得（完全子会社化）に関して合意に達し、株式譲渡契約を締結しましたのでお知らせ致します。

記

1. 株式取得の理由

ドラッグストア業界を取り巻く環境は、数年来競合する各社が積極的な出店を行ったことによるオーバーストア化、業種／業態を超えた価格競争の激化、改正薬事法による販売手法の変更や新規参入企業の増加、製薬メーカー及び卸売企業の経営統合などにより、一段と厳しさを増しております。

また、昨年夏以降の企業収益の大幅な落ち込みによる設備投資の抑制、雇用情勢やそれらに伴う賃金環境の悪化など、先行きの不透明感から依然として個人消費は生活防衛意識や節約志向が強まっております。

その一方で、少子高齢化が進行するとともに個人の健康に関する意識は高まりつつあり、ドラッグストアは「セルフメディケーション」をキーワードとしたそれらへの対応を求められています。

当社グループは、このような環境のなかで、効率的な店舗運営を実現するための施策を実行するとともに、企業価値向上を目的とした拡大戦略の施策として、直営店の新規出店に加えて、業務・資本提携及びフランチャイズ事業に注力してまいりました。

当社の完全子会社である株式会社マツモトキヨシ（以下「マツモトキヨシ」といいます。）と株式会社中島ファミリー薬局（以下「中島ファミリー薬局」といいます。）は、平成 17 年 11 月 4 日に業務提携に関する基本合意書を締結し、さらに平成 19 年 5 月 21 日にフランチャイズ契約を締結するなど協力関係を構築してまいりました。

しかし、長野県内を取り巻く環境は、県外を地盤とする競合企業の出店も加速しており大変厳しい環境が継続しております。このたびの子会社化は、フランチャイズ契約という限定的な関係から、今後の協業をより堅実的なものへと発展させるとともに、長野県須坂市を中心に展開する中島ファミリー薬局（16 店舗）をグループ化することで甲信越エリアの競争力強化を目的に設立した当社子会社である株式会社マツモトキヨシ甲信越販売（62 店舗）の基盤である長野地区のドミナントを確立できるとともに地域に密着したかかりつけ薬局を目指す当社グループとしての強固な地盤作りには有益なパートナーであると判断いたしました。

2. 異動する子会社の概要

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| (1) 商 号 | 株式会社中島ファミリー薬局 |
| (2) 代 表 者 | 代表取締役社長 中島 克彦 |
| (3) 所 在 地 | 長野県須坂市墨坂南 1 丁目 6 番 15 号 |
| (4) 設 立 年 月 日 | 昭和 63 年 3 月 |
| (5) 主な事業の内容 | ドラッグストア・調剤薬局等 |
| (6) 決 算 期 | 8 月 |
| (7) 従 業 員 数 | 146 名（平成 21 年 8 月末日現在） |
| (8) 資 本 金 | 44 百万円（平成 21 年 8 月末日現在） |
| (9) 発行済株式総数 | 880 株 |
| (10) 大株主の構成および所有割合 | |
| | 中島 克彦 86.4% 中島 朋子 13.6% |
| (11) 店 舗 数 | 16 店舗（平成 21 年 8 月末日現在） |
| (12) 直 近 の 業 績 | 売上高 3,662 百万円 |

3. 取得株式数、および所有株式の割合

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 取 得 株 式 数 | 880 株 |
| (2) 所 有 株 割 合 | 100% |

4. 日 程

- | | |
|-------------------|----------|
| 平成 21 年 12 月 25 日 | 取締役会決議 |
| 平成 21 年 12 月 25 日 | 株式譲渡契約締結 |
| 平成 22 年 1 月 1 日 | 株式取得予定 |

5. 今後の見通し（業績に与える影響）

中島ファミリー薬局の完全子会社化について、当社の連結業績等に与える影響につきましては、軽微であります。

以上